

手話は言語～デフムービーって何だろう～

第14回 さがの映像祭

2018.1/20土・21日 京都・同志社大学 寒梅館

企画1 第14回映像作品コンクール

応募作品上映

※左右の画像は2016年度作品です

企画2

1/21 字幕・副音声付き上映

こえ かたち
映画 聲の形

【お問い合わせ】

第14回さがの映像祭実行委員会事務局
(社福) 全国手話研修センター企画課
FAX 075-873-2647 TEL 075-873-2646

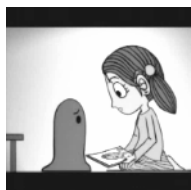
©大今良時・講談社/映画聲の形製作委員会



ろうの活動を通して
経験を積み重ねて視野を広



いなくなった時のことを考



1-②映像祭関連記事の一例 原稿

デフムービーを発信！

第14回さがの映像祭

障害者放送通信機構と全国手話研修センターは、二〇〇四年度より聴覚障害者の映像祭を開催しています。

二〇一八年一月二十・二十一日の二日間、「第14回さがの映像祭」を京都・同志社大学寒梅館内ホールにて開催します。

●恒例の映像作品コンクール

聴覚障害者が制作する映像作品コンクールには、全国から多彩な作品が集まります。聴覚障害者個人のほか、聴覚障害者を含むグループや聴覚障害者関係施設も応募ができます。

大館信広さん、今村彩子さん、早瀬憲太郎さんといったろう者の映画監督、水戸黄門の監督やテレビ局プロデューサー、映画館支配人等が審査員となり、当日に応募作品を上映後、優秀作品を発表いたします。作品講評もあります。

「目で聴くテレビ」では、優秀作品が放送されます。

これまでの十三年間に寄せられた作品は一二八点。■県からは、■さんの「■」が二〇■年に■賞を受賞されました。

●楽しもう！特別企画

2日目は、聴覚障害のある女の子が主人公の大ヒット映画「聲の形」(原作・大今良時)を日本語字幕・副音声付き上映があります。字幕付き上映を見逃した人は必見です。先着40名で、映画に関するワークショップもあります。

本映像祭の最新情報が研修センターHPや映像祭フェイスブックで発信されていますのでご覧ください。皆様のご参加をお待ちしております。



©大今良時・講談社/映画聲の形製作委員会